



なかすか しんいち
中須賀 真一 (62歳)

現職
東京大学
大学院工学系研究科 教授

超小型衛星と宇宙開発の青少年と一般および地方への普及啓発

業 績

東京大学の中須賀研究室によって開発された1kg衛星の2003年の打ち上げ成功により拓かれた超小型衛星の世界の発展により、世界中で民間、特にベンチャー主導の革新的な宇宙開発利用が展開されつつある。この新しい宇宙の産業界に必要な人材の育成、これを利用した地方における産業育成とともに、超小型衛星を活用した青少年の教育が強く求められている。

本活動では、青少年が宇宙、特に人工衛星の開発を科学やシステム工学などの教育の一環として利用し、また、県や企業が超小型衛星ベースの宇宙産業に乗り出すことを手助けすべく、超小型衛星を中心とした宇宙開発利用を題材に、多くの一般向け、青少年向け、そして地域の産業界向けの講演会、ハンズオン講習会、衛星開発の研修会などを実施してきた。

本活動により、多くの大学・地域、あるいは新興国で超小型衛星の開発が始まり、人材育成、地域産業への活用が始まると同時に、高校などでは青少年の教育に衛星を利用するようになり、超小型衛星による革新的な宇宙開発利用および宇宙産業の興隆、国際連携、青少年の科学への興味・理解増進に寄与している。

主要論文：「Evolution from Education to Practical Use in University of Tokyo's Nano-Satellite Activities」Acta Astronautica 誌、vol.66、p1099～1105、2010年発表

「Discussions on attitude determination and control system for micro/nano/pico-satellites considering survivability based on Hodoyoshi-3 and 4 experiences」Acta Astronautica 誌、vol.145、p515～527、2018年発表